

## オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾

実施機関：東京農業大学（総括責任者：黒瀧 秀久）

実施期間：平成 21～25 年度

### プロジェクトの概要

オホーツクの潜在的な地域資源を最大限活用するため、地場産品を利用した食品開発に関する知識・技術力・創造力を有する人材を養成する。本プログラムの特徴は、商品開発能力のみならず、ビジネスやマーケティング能力も併せ持つ人材を養成する点にあり、総合的なビジネススキルを有する地域のリーダー的人材を養成する。2年間の教育期間で展開される本事業は、1年目はビジネスやマーケティング等について幅広く学び、2年目は農水産加工実習や商品販売実習など、実際に「商品開発」と「販売」を想定した実践・実習により農水産資源の利用、マーケティング戦略等の基礎的知識から商品開発や販売まで、幅広く知識や技術を習得させる。5年目の事業終了時には40名以上の人材の養成を目指す。

### (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	人材養成手法の妥当性	実施体制・自治体等との連携	人材養成ユニットの有効性	継続性・発展性の見通し	中間評価の反映
S	s	a	a	s	a	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

### (2) 評価コメント

本プロジェクトは、地場産品を利用した食品開発に関する知識・技術力・創造力を有する人材を養成するものであり、所期の目標を大きく上回る数の修了者を輩出するとともに、それらの人材が地域に定着しつつネットワークを形成し、「将来への夢」を共有できる取組に成長したことは高く評価できる。また、地域内外への情報発信や他地域への波及効果も有効に実施されており、評価できる。今後は、オホーツクを代表する商品開発が修了者によって継続的に推進されながら、オホーツクブランドを育成、確立し、それを国内に留まらず海外に向けても展開することを期待する。

・**目標達成度**：オホーツクブランドを代表する商品開発を担うことができる人材を育成することを目的とする本プロジェクトにおいて、5年間で所期目標45名を大きく上回る89名の修了生を輩出し、受講生・修了生による36件の新商品開発と9件の事業化を達成したことは高く評価できる。

・**人材養成手法の妥当性**：「塾」に込められた大学の建学精神に基づいて構築されたプログラムであり、それに魅力を感じる女性企業家等を輩出していること、また、生物産業学MBAコースにおけるトップリーダーマネジメント人材育成事業につなげるなど、養成手法は妥当であると評価できる。様々な業種の受講生が集まったことによる受講生間の連携による商品開発や事業等を積極的に展開しており、今後は、受講生・修了生間のネットワーク化の一層の成果に期

待する。

・**実施体制・自治体等との連携**：生産・加工・流通・ビジネスの学内横断的な取組により実施体制の基盤を確保しながら、人材育成事業運営委員会、事業化・商品化推進タスクフォース委員会などに自治体が参加するなど、大学と自治体との間に実質的連携が見られる点は評価できる。

・**人材養成ユニットの有効性**：修了生による9件の事業化、NPO法人の設立や、地域活性化の取組へ向けた補助金の獲得など、本人材養成ユニットの有効性を示唆する多くの事例が見られるとともに、ビジネスコンテスト食品部門において優秀賞を獲得するなど、オホーツクブランドを代表する商品開発においても実績を出していることは高く評価できる。さらに、人材のネットワーク化、及び北海道地域に限定せず他機関実施のプロジェクトとも積極的な連携が実施されていることも評価できる。

・**継続性・発展性**の見通し：大学及び自治体からの予算措置による生物産業学MBAコースの立上げや、大学院社会人コースを将来的に設置予定であることなど、継続性・発展性が期待できる。今後は、NPO法人創成塾のネットワーク化事業とともに、大学の中での位置づけをより強化し学生プログラムとの相互交流を図るだけでなく、実施機関の北海道地域での新規な立ち位置をも最大限に活用しながら全国ネットでの更なる事業の展開を期待する。

・**中間評価の反映**：5年目から終了後の継続を見据えた生物産業学MBAコースを設置するなど、適切に反映されている。